

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公開番号】特開2010-263533(P2010-263533A)

【公開日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-046

【出願番号】特願2009-114292(P2009-114292)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/335 (2011.01)

H 0 4 N 5/243 (2006.01)

G 0 3 B 7/091 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/335 P

H 0 4 N 5/335 E

H 0 4 N 5/243

G 0 3 B 7/091

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光量変化を検出する光量センサ部と、
被写体の撮像信号を出力する撮像部と、
前記撮像信号のゲインを調整するゲイン調整部と、
前記撮像部を駆動し、その駆動タイミングを出力する駆動部と、
前記ゲイン調整部のゲインを制御するゲイン制御部とを備え、
前記ゲイン制御部は、前記光量センサ部の出力と前記駆動タイミングとから、外部閃光の影響ラインを特定し、特定した前記影響ラインに基づいてゲインを制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記ゲイン制御部は、前記光量センサ部で検出された光量を一定期間積算した値の逆数に基づいてゲインを決定することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記ゲイン制御部は、予め設定された値と、前記光量センサ部で検出された光量を一定期間積算した値の逆数とを乗算した結果を制御ゲインとして用いることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

光量変化を検出する光量センサ部と、
被写体の撮像信号を出力する撮像部と、
前記撮像信号のゲインを調整するゲイン調整部と、
前記撮像信号のノイズを抑制する信号処理を行うノイズ抑制部と、
前記撮像部を駆動し、その駆動タイミングを出力する駆動部と、

前記ゲイン調整部のゲインおよび前記ノイズ抑制部のノイズ抑制度合いを制御するゲイン & ノイズ抑制制御部とを備え、

前記ゲイン & ノイズ抑制制御部は、前記光量センサ部の出力と前記駆動タイミングとから、外部閃光の影響ラインを特定し、特定した前記影響ラインに基づいてゲインおよびノイズ抑制効果を制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 5】

前記ゲイン & ノイズ抑制制御部は、ゲインが大きいほどノイズ抑制を強く実施するような制御信号を出力することを特徴とする請求項 4 に記載の撮像装置。